

学校と地域の協働実践セミナー 三八上北地区研修会

平成27年10月22日(木) 十和田市東公民館 参加者26名
平成27年10月28日(水) 八戸市総合福祉会館 参加者26名

学校と地域の協働実践セミナー上北地区研修会が10月22日(木)十和田市東公民館で、三八地区研修会が、10月28日(水)八戸市総合福祉会館で開催されました。

今回は講師に青森市立橋本小学校前校長 スクールカウンセラー 長尾 慶子 氏をお迎えして「地域で支える子どもの育ち」と題して、コーディネーターがいかにして学校や地域と繋がれば良いか、問題のある子ども達にどのように接すればよいか等について講義・演習をしていただきました。

スクールカウンセラーとして

現在スクールカウンセラーとして青森市内の小中学校を訪問している長尾先生ですが、現代社会においては、子ども達だけでなく保護者、そして教職員も様々な悩みを抱え、長尾先生に相談をされるそうです。また、最近5歳から小学生にかけて、キレる子ども達が増加しているそうです。(中間反抗期)

そこで、キレない子どもにするために、セロトニン神経を活性化(早寝、早起、朝の日光、朝ご飯)することや、キレた際にはクールダウンさせることの大切さ、そして何より子どもと心がつながるコミュニケーション(子どもの話を最後まで聞く、自尊心を高める肯定のメッセージ、わたしメッセージ)が大切だということでした。

講師 長尾 慶子 氏



演習の様子



地域・家庭・学校で子どもを育む

スクールカウンセラーのほか、現在学校支援ボランティアとしても活躍されている長尾先生ですが、子ども達を育てていくためには、学校だけに任せておくのではなく、学校・地域・家庭がそれぞれの役割を果たすことが重要だと話されました。

また、学校、家庭、地域の現状についても触れ、それらをつなぐ役目を果たすキーマンが、学校支援コーディネーターであり、校長であると話されました。

学校・家庭・地域の役割

学校→「生きる」基盤である知・徳・体の定着
家庭→基本的な生活習慣の形成
地域→地域の安全、社会性、礼儀

学校・家庭・地域の現状

学校→学校(先生)の超多忙化
家庭→機能不全家族の増加
地域→地域の人間関係の希薄化

〈参加者のアンケートから〉

- ・学校に勤める側として、教師の多忙さを紹介してくださって、とてもうれしかったです。地域、家庭の方々が学校との連携、協力の必要性を感じていただけたような気がしました。
- ・先生の懐の深さが伺えました。私も子どもはかわいがってなんぼだと思います。しかし、そのことに自信がもてないこともあります。それは、自分の心に余裕がなかったり、知識不足であったりと原因は何なのかなと思いました。子どもは朗らかに、自由に、のびのびと育ててほしいと思います。

〈講師紹介〉



長尾 慶子 氏 青森市立橋本小学校 前校長 スクールカウンセラー
2008年 平内町立山口小学校 校長
2011年 青森市立橋本小学校 校長 (2014年3月退職)
現在 スクールカウンセラーとして小学校2校、中学校1校勤務
橋本小学校 学校支援ボランティア